

## 「みんなでおうち快適化チャレンジ」キャンペーンの開始について



令和2年11月26日（木）

菅総理大臣は所信表明演説で、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。その実現には脱炭素型のライフスタイルへの転換が必要です。また、コロナ禍において、家庭で過ごす時間が増え、世帯当たりエネルギー消費量の増加傾向が見られます。これらを踏まえると、「在宅生活」に焦点を当てて、新たな日常の脱炭素化を進める必要があります。

そこで、環境省では、令和2年11月26日（木）から「みんなでおうち快適化チャレンジ」キャンペーンを開始いたします。

本キャンペーンでは、これから冬を迎え寒くなり、暖房使用等による家庭でのエネルギー消費の大きくなるタイミングを捉え、家庭の省エネ対策としてインパクトの大きい、断熱リフォーム・ZEH化と省エネ家電への買換えを、関係省庁及び関係業界等と連携して呼びかけ、国民一人ひとりの行動変容を促していくことにより、脱炭素で快適、健康、お得な新しいライフスタイルを提案します。

### 1. 概要

菅総理大臣は所信表明演説で、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。その実現には脱炭素型のライフスタイルへの転換が必要です。また、コロナ禍において、家庭で過ごす時間が増え、世帯当たりエネルギー消費量の増加傾向が見られます\*。これらを踏まえると、「在宅生活」に焦点を当てて、新たな日常の脱炭素化を進める必要があります。

(※) 2020年4～6月の世帯当たりエネルギー消費量は前年同期比3.2%増加(株式会社住環境研究所)

本キャンペーンでは、これから冬を迎え寒くなり、暖房使用等による家庭でのエネルギー消費の大きくなるタイミングを捉え、家庭の省エネ対策としてインパクトの大きい、断熱リフォーム・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）\*化と省エネ家電への買換えを、関係省庁（経済産業省、国土交通省）及び関係業界（一般社団法人 住宅生産団体連合会、一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会、大手家電流通協会、全国電機商業組合連会）等と連携して呼びかけ、国民一人ひとりの行動変容を促していくことにより、脱炭素で快適、健康、お得な新しいライフスタイルを提案します。

(※) 住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅。

## 2. キャンペーンのポイント

- ・快適・健康という生活の質の向上、新しいライフスタイルを提案。
- ・おうちの快適化が、家族の健康のみならず、地球の健康にもつながっている。
- ・コロナ禍で迎える初めての冬。今こそみんなで、おうちを快適に。

## 3. キャンペーンの対象

- ・住宅の断熱リフォーム（高断熱窓への交換、外壁や天井の断熱改修等）、ZEH化
- ・省エネ家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫、LED照明、温水洗浄便座）への買換え

## 4. 実施期間

令和2年11月26日（木）～令和3年3月31日（水）

## 5. 主な実施内容

キャンペーン全体の認知度を高めるための広報やツール（冊子、ポスター、POP等）制作をするとともに、関係業界等と連携し、デジタル・実店舗を含め、各現場でロゴマークの掲示やツールの活用をいただく。これらを通じて、多様なチャンネルから、消費者へのアプローチを実施する。

## 6. キャンペーンロゴ



## 7. キャンペーン公式サイト

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/kaiteki/>

環境省地球環境局地球温暖化対策課			
脱炭素ライフスタイル推進室			
代 表	03-3581-3351		
直 通	03-5521-8341		
室 長	菊池 圭一	(内線 6725)	
室長補佐	村井 啓朗	(内線 6788)	
室長補佐	安陪 努	(内線 7734)	
室長補佐	武藤 文	(内線 7740)	
主 査	富士本 雄大	(内線 6794)	